

楽友会通信 No.71 2017/12/10 指笛楽友会発行

♭ ♪♪♪♪♪♪ ♯ ♪♪♪♪♪♪ ♭ ♪♪♪♪♪♪ ♯ ♪♪♪♪♪♪

*** 目次 *** -頁-

1. 田村大三 指笛音楽83周年記念 指笛コンサート開催 …… 有吉憲行 - 1-
2. 指笛・発表会のプログラム(別紙) …… 有吉憲行 - 3-
3. 海外での指笛演奏 …… 塩谷彰宏 - 4-
4. 東京せみね会 …… むらやま さかと - 8-
5. 神保町ブック フェスティバル …… むらやま さかと - 8-
6. 事務局からのお知らせ・総会出欠は同封葉書にてお知らせ下さい… 事務局 -11-

1. 田村大三 指笛音楽83周年記念 指笛コンサート開催 有吉憲行

練馬文化センター小ホールにおいて、10月07日（土）13時に開演された田村大三指笛音楽83周年記念「指笛コンサート」が無事に終了しました。

1934年(昭和9年)に田村大三先生が神田神保町のすずらん通りで指笛を吹き、街頭デビューされてから今年で83年になります。特に今年は5月27日(土)に神田神保町の「すずらんまつり」にも有志が指笛参加しました。それからほぼ5ヶ月後の指笛発表会でした。今年も門下生多数が参加して、盛大に開催されました。土曜日昼間の開催でありましたが、雨天候の為か、入場者は昨年より少なく 300人程でした。

第一部最初の出演は村山壮人さん達 8名の皆様が登場して、『北の国から』と称して北海道民謡等を指笛・琴・太鼓等の演奏で、華やかにかつ賑やかに開幕されました。



村山さんグループの演奏は大勢がまとまって調子を合わせ、とても盛大でしたので、客席からは多くの拍手を頂き見事な開幕となりました。お陰様で会場は和やかな雰囲気にも包まれ、私達後続の出演者達も緊張感がほぐれて、演奏がしやすくなりました。

プログラムは進み第一部中頃には、藤好清晴・藤好真也さんの出演で「まっかな秋」が演奏されました。紅葉の様な真っ赤な手袋を使って、歌詞に沿った動作がありましたので、楽しく秋らしく感じました。



第一部の終わりは塩谷彰宏さんがアメリカ南部民謡の「テキサスの黄色いバラ」を軽快に、そしてリズムカルに演奏されましたのでお客様は楽しまれたことと、思います。

休憩後、第二部に入りました。

最初は石塚先生のピアノ独奏です。ショパン作曲の「舟歌」を弾いて下さいました。客席の皆さんは、その音色にうっとり、されたようです。



続いて注目されたのがグループ演奏の登場、植松久美子さんの指笛「恋のバカンス」に合わせて、有賀さんのマラカスと、片山さんのタンバリン伴奏がぴったりと息が合って、素敵でした。お客様も楽しそうに観劇されたようでした。

この後プログラムは進み、第二部でも再び、村山さん達

グループの皆さん6名が南国風衣装で、登場しました。今度は『南の国から』と称して、沖縄民謡等が指笛と三線(さんしん)伴奏と共に奏でられました。これも素晴らしい演奏でした。客席からは沢山の拍手が送られました。

第二部最後の演奏は杉田隆則さんが「月光値千金」と「ラ・ノヴィア」を演奏しました。素晴らしい音色の指笛演奏でしめて下さいました。



第二部の最後は指笛合同演奏です。今日の出演者全員が舞台中央に集合して、春夏秋冬の四班に分かれて並び、中村会長指揮のもと春班は「朧月夜」、夏班は「われは海の子」、

秋班は「里の秋」、冬班は「スキー」を指笛演奏しました。客席の皆さま方には歌詞を前もってお配りしていただきましたので、私達の指笛に合わせて、一緒に歌っていただきました。なおアンコールにお応えして「四季の歌」、「故郷」も指笛演奏して、沢山の拍手を頂きつつ盛大に幕を閉じました。



2. 指笛・発表会のプログラム(添付別紙)

有吉 憲行

今回の「田村大三 指笛音楽83周年記念 指笛コンサート」プログラムは別紙として、この楽友会通信71号に添付同封されています。

なお、指笛のホームページ <http://yubibue.net/> の楽友会通信71号でもご覧になれます。

3. 海外での指笛演奏

青森県 塩谷 彰宏

私はこれまで、約20ヶ国を訪れた。

中には、同じ国を何回か訪れたこともある。

最近訪れた国の中で、アメリカ、カナダ、タイ、ベトナム、中国、韓国は青森県ユネスコ協会海外派遣団長として訪問した。

このユネスコの海外派遣のプログラムは現地のユネスコ世界遺産視察見学と現地のユネスコ協会等の方々との国際交流が目的だ。

これまでのインド、ドイツ、イギリスでのホームステイの経験のお陰もあって日常英会話はなんとか意思の伝達程度はできる。

しかし、海外の方々とのより深い交流をしたいと思い、67歳から週2回「くもん教室」に通って英語の学習を続けている。

小学生・中学生・高校生と同じ教室で、同じA教材から始め、現在P教材でヘミングウェイ作「老人と海」の原語に取り組んでいる。

特に海外の人達との懇親会等の場では、言語での交流はもちろんであるが、会話だけではなく、全体場でアピールできるなにかがあると印象が強い。

そんなとき「指笛」が力を発揮する。

日本でも同じであるが、だいたい、指をくわえて笛を吹く人なんてほとんどいない。

だから、指笛で、小鳥の鳴き真似をしたり、その国の音楽等を演奏するととても喜んでもらえる。

8年前に訪れたアメリカ（メイン州）では「ダニーボーイ」「アメージング・グレイス」を、今年9月に訪れた韓国（済州市 平澤市）ではサランへ（愛してます）「荒城の月」等を演奏した。いずれも大喝采を受けた。



アメリカ人と「ダニーボーイ」



アメリカ（メイン州）との親善交流



韓国（平澤市）との親善交流



韓国の課長と「荒城の月」

中には、「どうやって音を出すの」？

「指笛の吹き方を教えて！」 と尋ねられることも少なくない。

別の旅の話であるが、今年6月に北欧4カ国を訪れた時のことだ。

スウェーデンからフィンランドまでは、船で移動した。

2,800人も乗れる大型豪華客船（シリヤライン）だった。

夕食を済ませてから、屋上で「カラオケ」をやっていると聞いたので行ってみた。

屋上一面が強化ガラスばりで、外の景色が一望できる最高の場所だ。

フロア全面を大きく使って、真ん中がステージ、そのまわりをぐるーっととりまいて通路があり、その外側は全部テーブルの客席だ。

世界各国から来たたくさんの人たちが自分の好きなドリンクを飲みながらカラオケを歌い会話を楽しんでいる。

いろいろな国の人いろいろな言語で次々に歌い、カラオケを楽しんでいる。

係の人に、カラオケの曲名のメニューを見せてもらった。

英語、ドイツ語、イタリア語などの言語の最後の2頁に日本語の歌があった。全部演歌であった。

その中から「北国の春」を選んだ。

約40分待てば、自分の番が来るとのことだ。

休暇を楽しんでいるという、2人の子どもを連れたフィンランドの若夫婦の家族のテーブルで英会話を楽しみながら、自分の番を待った。

「アキヒロ シオタニ」とコールがあった。

私は「北国の春」の1番と3番は指笛で、2番は日本語の歌詞で歌うことに決めていた。

前奏に続き、指笛で「（白樺）シラカバー・・・♪♪♪」とやった。

一瞬、あの大きな会場がシーンとなった。

そして、たくさんの人たちの視線が私に集まった。

二番を日本語で歌い、3番の指笛が終わったとき。

多くのテーブルの人たちが立ち上がって拍手をしてくれた。

スタンディングオベーション（観客総立ちの拍手大喝采）を受けた。

歌う前に私と英会話をしていたフィンランドのお父さんは席を立って握手を求め、私を家族がいる自分たちのテーブルに連れて行ってくれた。

「指笛」は世界にも通じると体で感じた。

私は現在70歳である。

生きているうちに、あと30ヶ国は訪れたいと思っている。

そして、世界の色々な場で指笛を演奏してみたいと夢見ている。



シリヤライン

4. 東京せみね会

創立25周年記念会での指笛演奏

むらやま さかと

10月29日(日)、銀座の一流レストラン「Sunmi 高松」で宮城県瀬峰町出身の集いで演奏しました。

竹中速雄、片山陽一、村山壮人、大学2年生の多胡一樹がそれぞれお祝いの席にふさわしい服装で集まり、宮城県にちなんだ曲、懐かしい童謡、TV朝ドラで皆知っている曲を披露し喜んで頂きました。

指笛で音楽を奏でる私達には、これからこうした有料演奏の機会がどんどん増えると思います。いかなるときでも「サツ」と演奏できる曲を、各ジャンルごとに2~3曲は準備しておきましょう。

日本レクリエーション協会の幹部でもある青森の塩谷さんの談によれば、1曲につき最低500回は練習しないと人前で演奏しない方がいいとのこと。「そりゃ出来ないよ」と思っていました、プロのミュージシャンにとっては当たり前のことだそうです。

「北国の春」で大ブレイクした千昌夫さんは、遠藤実さんの下で、何と8年間レッスンを受け、同じ曲を歌い続け、やっとデビューさせてもらったそうです。コンクールで世界一になった後のピアノの中村紘子さんは、毎日8時間~10時間練習を続けたそうです。インタビューに答えて「そうしていないと、どんどん低下していくから、やらない訳にはいかないんです」と言っていました。

私たちは、それぞれに仕事があったり他の用事もあるでしょうが、吹き込めば吹き込むほど新しい発見があります。出なかった低音もこうすればいいのかと分かったり、小さな音でもシッカリ演奏できる技術が見つかるものです。

少なくとも1日5分間、毎日欠かすことなく練習しましょう。

5. 神保町ブックフェスティバル

むらやま さかと

毎年11月の初旬の3日間、神田神保町すずらん通りを中心に「神保町ブックフェスティバル」が開催されていました。模擬店が並んでいたり、各地の特産品が売られていたり、各種イベントも行われています。

おもしろいのは、この地の住居表示には、頭に「神田」が付きます。ですから以前は「神田神保町ブックフェスティバル」と名乗っていたようですが、遠方

から来る人は JR の神田駅で降りたり、地下鉄の神田駅で降りて「ブックフェスティバルは、どこで開催されているのですか？」と尋ねる人が沢山いたそうです。

そこで主催者は単に、「神保町 ～ 」と言うようにして宣伝したと説明を受けました。

楽友会の指笛演奏を今年から加えてもらいましたが、そのきっかけは、今年5月27日に「すずらん通り祭り」に15人位で路上演奏したことによります。

神保町すずらん通りは、昔から古本屋がたくさん軒をつらねている本屋街です。学生、学者、研究者がたえず行き交う風景は今も昔とちっとも変わっていません。

指笛の創始者・田村大三は、後藤静香が経営していた日本印刷学校で、半日は勉強、半日は実務労働をしていましたが、ある事件でこの日本印刷学校が閉鎖されました。どこにも行く所が無くなったのです。

他に相談する人はいなかったもので、師匠である後藤静香に相談しました。すると、「人は誰でも何か持っているものです。自分に出来るその何かで、人様の為に働けばいいのです。」

「君には指笛があるじゃないか。指笛を演奏して人を喜ばせたらいい。」「人を喜ばせるということは、大事業ですよ。大企業の経営者として社会に貢献するのと同じなんですよ。」

獄中からの師匠の声は、田村青年には天の声として聞こえました。

今から83年前の5月25日、21歳の田村大三は「指笛の吹き方」というパンフレットを並べて、すずらん通り入口の三省堂書店前で初めて大衆に向けて演奏しました。

楽友会では「私達も一回、そのすずらん通りへ行ってみようよ」と話がもちあがり、この春演奏することが企画され、5月25日ではなく、5月27日(土)のお祭りの時に演奏させて下さいと打合せし、5月27日は約30分間、皆で演奏しました。

狭い通りの両側には3階建のビルがおおよそ200メートルも並んでいます。そうでなくてもマイク無しで野外演奏ができる指笛の音色は、右のビル、左のビルに反響して、あたかもオペラハウスの様に響き渡りました。

三省堂の8階では、特設寄席が企画され、一流の落語家さん達がお嘯していたのですが、指笛の音色にかき消されそうだったと、三省堂の役員さんから後日伺いました。5月の演奏がことのほか神保町の古老、ダンナ衆に受けて、「11月3日(金・祝)のブックフェスティバル」でもやってもらおうとなったのです。

多忙な人たちばかりでしたが、無理に頼みこんで、中澤忍、河津菊枝、倉木成伊知、村山壮人でプログラムを編成しました。3日前にとつぜん塩谷彰宏さんが、スケジュール調整ができたと参加申込み頂きました。

室内向きの曲を野外の強風の中でやった為ちょっと無理があったり、むつかしい曲なのに
以外に拍手が多かったり、倉木さんの「黒猫のタンゴ」に合わせて河津さんが
猫衣装で踊ったりと、午前1回、午後1回20分づつの路上演奏を楽しく終えました。



思いがけずアンコールの拍手が鳴り止まず。高野辰之作詞、岡野貞一作曲の名曲「故郷」
をアカペラで全員合奏し、惜しまれながら終演しました。



6. 事務局からのお知らせ

指笛楽友会 事務局

(1) ご寄付を頂いた方々

今回の発表会に、下記の方々より貴重なご寄付をいただきました。

朝賀慧子様、小籠正美様

いつも御協力、ご支援有り難うございます。

(2) 総会・新年会のご案内

期日：2018年(平成30年)1月8日(月)成人の日

会場：大泉学園駅南口 徒歩3分 練馬区立 勤労福祉会館

住所：東京都練馬区東大泉 5-40-36 TEL: 03-3923-5511

時間：9:00-10:30 2階音楽室にて、楽友会 役員会

10:30-12:00 2階音楽室にて、楽友会 総会

12:00-15:00 1階レストラン「かど36」にて新年会を開催します。

会費：4,000円

* 出欠の連絡及び委任状： 楽友会会員は 同封の葉書にて
出欠を、なお欠席される場合は委任する旨を、中村会長宛に
2017年12月20日(水)迄にお知らせ下さい。

(3) 2017年12月の「25の会」は 12月23日(土)13:00～17:00です。

(4) 指笛音楽84周年記念 指笛コンサートのご案内

来年2018年の指笛コンサートは11月24日(土)練馬文化センターで
開催されます。皆様の参加、大勢の方々のご来場をお待ちしています。

**** 編集後記 **** (有吉憲行)

- ・この楽友会通信71号は指笛発表会の特集号となりました。
 - ・指笛発表会后、準備しつつ皆様のお陰様で、12月発行に間に合わせる事が出来ました。お礼申し上げます。
 - ・塩谷様からは海外での指笛演奏を紹介して下さい有り難うございました。
 - ・村山様からは神保町等の指笛演奏活動をお知らせ頂き感謝いたします。
- 今回、楽友会の皆様方、関係各位の一致協力により、指笛音楽83周年記念が無事に大成功に終わられたことを皆で喜び合いましょ。今後も皆様方の御協力により、指笛楽友会をより良く発展させましょ。